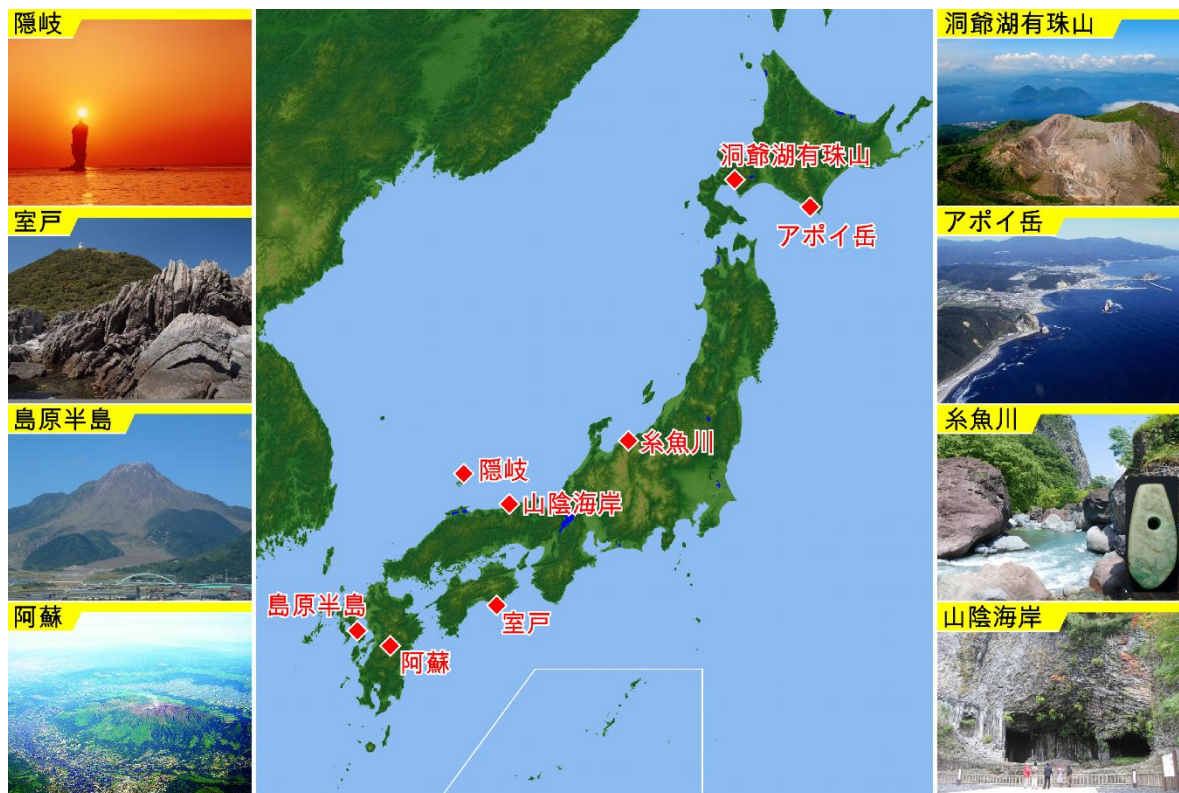


世界ジオパークとは、世界的に貴重な地質、地形、火山などの地質遺産を複数有する自然公園で 2004 年にユネスコの支援によって設立された世界ジオパークネットワーク (GGN) が審査・認定を行っている。認定には、地質遺産の保護とともにそれらを資源とし、地域における教育や科学振興、観光事業に活用し、持続可能な地域社会の活性化を図ることが求められている。

4 年毎に再審査が実施され、活動の適正や成果が評価される。活動が不適切な場合には GGN から指導を受け、改善が認められなければ認定取り消しとなることもある。2015 年 10 月末現在、33 カ国 120 カ所が世界ジオパークに認定されており、国内では 8 地域が世界ジオパークに認定されている。

日本における世界ジオパーク認定地域



洞爺湖有珠山 GP (初認定日：2009.08.22)	糸魚川 GP (初認定日：2009.08.22)
活発な火山活動によって、目の前の景色を変え続けてきた、世界でも類を見ない「変動する大地」を体感できる場所。噴火災害遺構の保存・公開による防災・減災教育が高く評価されており、火山がもたらす美しい景勝や温泉、食材などの大地の恵みを実感できる。	日本列島を東西の地質に二分し、フォッサマグナの西側境界でもある糸魚川－静岡構造線がジオパークエリアの中心を通る。縄文時代から古墳時代にかけて北海道から沖縄、朝鮮半島へと広がったヒスイが産出する世界最古のヒスイ文化の発祥地である。
島原半島 GP (初認定日：2009.08.22)	山陰海岸 GP (初認定日：2010.10.04)
「人と火山の共生」をテーマに、世界的な活火山である雲仙火山による災害と復興を体感できる。「雲仙普賢岳の平成噴火」を始めとした火山災害からの復興を学び、泉質が異なる温泉群や豊かな湧水、大地の恵みを五感で楽しむことができる。	日本列島が大陸の一部であった時代から、日本海形成を経て現在にいたる歴史を、多彩な海岸地形や、内陸の滝や渓谷などで見ることが出来る。1929年、松山基範博士により発表された『地球磁場逆転仮説』発見の舞台となった玄武洞などがある。
室戸 GP (初認定日：2011.09.18)	隠岐 GP (初認定日：2013.09.09)
プレート運動による地殻変動がきわめて大きい地域で、それによって形成された海成段丘が有名。また、大陸プレートと海洋プレートの境界で新しい大地が誕生する「付加体」形成現象の研究の舞台として世界を牽引してきた地域でもある。	日本海の風浪による侵食海岸の景観の他、離島でありながら大陸に類似した地質を持ち、その来歴、地理によって独自の生態系と多様な時代の文化が保存されており、文化、生物、地質の高い多様性が絡み合った景観が楽しめる。
阿蘇 GP (初認定日：2014.09.23)	アポイ岳 GP (初認定日：2015.09.19)
約9万年前の噴火によって形成された独特の地形や地層、噴火がもたらした日本各地への影響など、巨大カルデラに刻まれた噴火の記憶を辿ることができる。カルデラの中には5万人の人々が暮らしており、火山との共生に伴い、独自の文化・生活を築いている。	プレートの衝突によって地球内部のマントルが顔を出したかんらん岩体からなるアポイ岳と、その特異な岩体に影響を受けた固有の高山植物群落が見られる。先住民族アイヌの文化伝承など、古くから交易の拠点として栄えてきた歴史にもふれることができる。